

仙台白百合学園中 心静かに自分と向き合う



これがイチオシ

夏休みに海外研修旅行

私たちの学校では、夏休み期間に海外研修旅行に行くことができます。昨年度は韓国の「バジュ英語村」に行ってきました。そこではネイティブの先生によるレッスンを1週間ほど受け、英語についての理解を深めました。グループワークなどのアクティビティが多く、楽しく学ぶことができました。実際に海外研修旅行に参加した生徒からは「これからも世界に目を向けていきたい」などの声が上がっています。

本年度の研修先はオーストラリア。今から楽しみです！

学校名 仙台白百合学園中学校
 所在地 仙台市泉区紫山1の2の1
 創立 1893年
 電話 022(777)5777
 校長 鈴木 里香
 生徒 120人

仙台白百合学園中学校は、総面積13万平方メートル、敷地内に充実した施設が整った環境です。小中高合同で行事を行うこともあるレジナパッチスホールという大ホールや、200席もある食堂・ステラマリリス。ロザリオの MARIA 聖堂や、人工芝の校庭もあります。ステラマリリスや廊下には飲み物やパンなどの軽食の自動販売機が合計で5台あり、私たちのおなかも心も満たしてくれます。聖堂にはパイプオルガンやステンドグラスがあり、静かな雰囲気の中でお祈りすることができますし、人工芝の校庭は雨でぬれてもすぐ乾くので、体育では思いきり走ることができます。

本校の1日は、心を静かにし、自分と向き合う静粛の時間から始まります。中学生になると、小学生の時に比べ、勉強や部活動などが忙しくなるので、自分と向き合う時間、考える時間が少なくなってきたかと思えます。そんなときに少しでも自分と向き合える時間があることで、安心して学校生活を送っていくことができます。



編集委員 佐藤真央、板垣花奈、木村理子、今井花音、伊藤想乃、佐藤朱織、鈴木友希乃(3年)、綾辺莉璃愛、須田菜々美(2年)
 指導教員 岩竹善知、吉田蓮

わが校わがまち スクール通信



今回は
 白川小(白石市)
 仙台青陵中等教育学校(仙台市)

みんなで出店計画や準備

楽しい児童会のお祭り

伊里前小学校には、年に一度、全校児童がともも楽しみにしている「たつがねっ子まつり」という児童会のお祭りがあります。

6年生が中心となつて、出店の計画や準備を行います。縦割り班ごとに全学年が集まって、当日の出店の飾り付けやポスター、遊び道具を作るなど、みんなで力を合わせて準備をして楽しむお祭りです。

当日は、輪投げ、魚釣り、お化け屋敷、しおり作り、的当て、シュートゲーム、輪投げといった12の店を出店しました。たつがねっ子まつりを通して、お互いの仲を深めながら、笑顔いっぱい学校にしていきたいと思っています。



たつがねっ子まつりの出店の様子

編集委員 三浦凛人、武田悠良、千葉悠太、渡辺龍之介(3月卒業)
 指導教員 熊谷直子(転任)

伊里前小



これがイチオシ

全校児童で「山よ海よ」

伊里前小学校では昨年、開校150周年記念式典を行いました。式典の中では、約30年前の児童と先生方がミュージカルで演じた「山よ海よ」を全校児童で踊りました。

この曲には、歌津のシンボルである田東山、学校の目の前に広がるきらめく海などの自然を大切に思う気持ちを持ち続け、未来につないでいこうという思いが込められています。踊るとみんなが笑顔で元になります。ふるさとを思う気持ちとともにこれからもずっと受け継がれていくと思います。

学校名 南三陸町立伊里前小学校
 所在地 南三陸町歌津伊里前113
 創立 1873年
 電話 0226(36)2005
 校長 三浦 博之
 児童 111人

1995年に事件を起こし、14人が死亡し、6000人以上の重症者を出した地下鉄サリン事件が、3月20日発生から30年となりました。発生時刻に合わせて午前8時過ぎ、たぐさんの被害が出た東京の中心部にある地下鉄霞ヶ関駅で、駅員らが黙とう。遺族は献花に訪れ「事件を忘れないでほしい」と訴えました。

NEWS ニュース アラカルト

たのはオウム真理教という宗教団体です。教祖として麻原彰晃を名乗った松本智津夫元死刑囚が指示し、信者らが、朝のラッシュ時に通勤客がたぐさん乗った地下鉄車内に猛毒サリンをまきました。

教団が関わった他の殺人などを含めた一連の事件で、松本元死刑囚ら13人が死刑判決を受け、2018年7月に刑が執行されました。オウムの後を継いだ団体は今も存在します。新たな信者を獲得するなど活動を続けているため、国は警戒を強めています。

地下鉄サリン事件30年で黙とう・献花

遺族「忘れないで」



地下鉄サリン事件から30年となり、東京メトロ霞ヶ関駅で献花する遺族の高橋シズエ(たかはししずえ)さん(3月20日、東京都千代田)が、ただ区

本のプロ 推しの二冊

ひいきにかんぱい!
 宮川 ひろ 作
 小泉るみ子 絵
 童心社



知恵出し合い友達を応援

「ひいき」と聞くと悪いイメージを持つ人も多いと思いますが、この物語の「ひいき」は少し違います。新しい学年が始まり、一也はクラス替えで3年2組になりました。担任は新任の内山先生です。同じクラスに、入学した時から給食が食べられずにいるさなえがいました。

先生1年生の内山先生とさなえを応援しようと、一也は佳行とひとみとで「ひいき係」をつくることに。どうしたらさなえが給食を食べられるようになる

のか、ひいき係を中心に知恵を出し合います。そして、人目を気にしないようにと、音楽室で食べることから始めていきます。

さなえが徐々に給食を食べられるようになったところ、先生の誕生日を祝おうとある計画が持ち上がります。その計画とは？

読み終えるころには、3年2組を「ひいき」したくなる、そんな物語です。小学校中学年から。(仙台市泉図書館 千葉靖代さん)